

1 作業前 作業計画の登録・共有

2 作業中 位置情報と危険度を監視

3 危険時 アラート通知・退避対応

4 収束後 安全確認・作業再開

管理者 (PC画面)



作業員が登録した作業計画を確認・共有します。



作業員の位置・危険度・作業状況をリアルタイムで監視します。



危険度上昇を検知すると、画面上でアラート表示。Aさんが気づいていないことに気づき、連絡します。

⚠ 土砂災害危険度
レベル4到達!

Aさんがまだアラートに気づいていない!

すぐに連絡!



退避状況を確認し、作業再開の判断に活用できます。

作業員A (スマホ)



作業前に、作業場所や作業内容を登録します。



位置情報を自動送信し、作業を開始します。



作業に集中していてアラートに気づいていない状態。管理者が連絡して退避を促します。

Aさんがまだアラートに気づいていない!

管理者から連絡! 「今すぐ退避して下さい」

すぐに退避しよう!

退避中



管理者とAさんが安全を確認し、作業を再開。

作業員B (スマホ)



作業前に、作業場所や作業内容を登録します。



位置情報を自動送信し、作業を開始します



アラートを受信し、作業を中断して安全な場所へ退避します。

アラート受信! すぐに退避しよう!

退避中



現地で状況判断して作業予定を報告。



作業計画の登録・共有
作業内容や場所を登録し、管理者と共有します。



位置情報の取得・可視化
作業員の位置をリアルタイムに取得し、WEBマップで表示します。



災害リスクの自動判定
気象・防災情報から、現在地の危険度を自動で判定します。



アラート通知
危険度に応じて作業員へアラートを通知します。



退避状況の確認・判断支援
管理者が退避状況を確認し、避難指示や再開判断を支援します。